

宿泊料金階層別の宿泊者数と宿泊税試算結果について

観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議において、宿泊料金階層別の宿泊者数の調査及び当該調査結果に基づく宿泊税の試算の依頼があったため、調査したもの。

1 調査概要

宿泊料金階層別の宿泊者数を把握するため、「令和5年 箱根町観光客実態調査（観光客入込調査）」もとに宿泊者数等を調査したもの。

その上で、宿泊税を導入している5団体（京都市、金沢市、長崎市、福岡市、北九州市）の課税内容を適用した場合、どの程度の収入が見込まれるか試算したもの。

2 調査対象

368 施設 ※観光客実態調査において、年間宿泊者数が1人以上の宿泊施設を対象としたもの。

旅館・ホテル	： 246 施設
寮・保養所	： 99 施設
その他	： 23 施設

3 調査方法

(1) 宿泊施設別の宿泊者数及び宿泊費（月別）をもとに、料金変動等を考慮して1月毎の1人当たり宿泊単価を算出した。

(2) 1人当たり宿泊単価を次の6つの料金区分に分類し、宿泊料金階層別宿泊者数を集計した。

料金区分					
① 1万円未満	② 1万円以上2万円未満	③ 2万円以上3万円未満			
④ 3万円以上4万円未満	⑤ 4万円以上5万円未満	⑥ 5万円以上			

※宿泊単価が「はこねの手引き」と大きく乖離した施設等については、はこねの手引きや施設のホームページの掲載金額に基づき集計した。

(3) 宿泊税導入済の5団体の税率をそれぞれ乗じて収入額を試算した。

4 集計結果

【宿泊料金階層別の宿泊者数（令和5年）】

単位：人

区分	宿泊料金						計
	① 1万円未満	② 1万円以上 2万円未満	③ 2万円以上 3万円未満	④ 3万円以上 4万円未満	⑤ 4万円以上 5万円未満	⑥ 5万円以上	
旅館・ホテル	954,672	1,420,110	743,869	206,040	55,088	158,577	3,538,356
寮・保養所	353,146	9,700	0	0	0	0	362,846
その他	30,837	4,951	664	81	27	0	36,560
計	1,338,655 (34.0%)	1,434,761 (36.5%)	744,533 (18.9%)	206,121 (5.2%)	55,115 (1.4%)	158,577 (4.0%)	3,937,762 (100.0%)
(参考) R2宿泊者数	900,601 (32.3%)	879,482 (31.5%)	581,674 (20.9%)	326,639 (11.7%)	39,570 (1.4%)	60,740 (2.2%)	2,788,706 (100.0%)

※集計結果には、宿泊税の課税対象（素泊まり料金）以外の宿泊料金（2食付き宿泊料金など）をベースに分類した施設も含まれるもの。

（ポイント）

- ・令和5年宿泊者数の宿泊料金階層別割合は、「①（1万円未満）」、「②（1万円以上2万円未満）」、「③～⑥の計（2万円以上の計）」で、それぞれ1/3となった。
- ・前回調査した令和2年との比較では、「①, ②（2万円未満）及び⑥（5万円以上）」の割合が増加した一方で、「③, ④（2万円以上4万円未満）」は減少しており、宿泊料金の低価格帯と高価格帯へのシフトが進んでいる傾向がうかがえる結果となった。

5 宿泊税の試算結果

【令和5年宿泊料金階層別の宿泊者数における宿泊税の試算結果】

区分		①	②	③	④	⑤	⑥	計 (収入見込額等)
		1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上	
R5宿泊者数 (人)		1,338,655	1,434,761	744,533	206,121	55,115	158,577	3,937,762
京都市	税率 (円)	200		500			1,000	1,216,144,700
	対象者 (人)	2,773,416		1,005,769			158,577	
	収入見込額 (円)	554,683,200		502,884,500			158,577,000	
金沢市	税率 (円)	200		500				1,136,856,200
	対象者 (人)	2,773,416		1,164,346				
	収入見込額 (円)	554,683,200		582,173,000				
長崎市	税率 (円)	100	200	500				1,002,990,700
	対象者 (人)	1,338,655	1,434,761	1,164,346				
	収入見込額 (円)	133,865,500	286,952,200	582,173,000				
福岡市	税率 (円)	150		450				939,968,100
	対象者 (人)	2,773,416		1,164,346				
	収入見込額 (円)	416,012,400		523,955,700				
北九州市	税率 (円)			150				590,664,300
	対象者 (人)			3,937,762				
	収入見込額 (円)			590,664,300				

(参考) 入湯税 京都市・金沢市・長崎市・北九州市：150円、福岡市：50円
福岡市と北九州市では、上記金額に福岡県分50円を加えた金額を徴収しているもの。

【試算結果一覧】

宿泊税 実施団体	令和5年ベース (A)	令和2年ベース (B)	差 額 (A) - (B)
京都市	12億1,600万円	8億9,100万円	3億2,500万円
金沢市	11億3,700万円	8億6,000万円	2億7,700万円
長崎市	10億0,300万円	7億7,000万円	2億3,300万円
福岡市	9億4,000万円	7億2,100万円	2億1,900万円
北九州市	5億9,100万円	4億1,800万円	1億7,300万円

(ポイント)

- ・宿泊税を導入している5団体の税率をもとに試算したところ、令和5年で約5.9～12.2億円、令和2年で約4.2～8.9億円の収入が見込まれる結果となった。
- ・収入見込額の最低と最高で約2.1倍の差があるが、この要因は「③～⑥（2万円以上）」の宿泊料金に対して、段階的定額制を採用するかどうかによる違いである。
(例 京都市：200円と500円で2.5倍、福岡市：150円と450円で3倍)
- ・本町の場合、「③～⑥の計（2万円以上の計）」が令和5年で116万人、令和2年で100万人と対象者数が多いため、段階的定額制を採用すると収入増の効果が大きいことがわかった。